

ある学問領域を確立しようとする場合の諸条件を挙げる際には、必ず専門用語の存在が問われます。厳密な定義づけによって共通した概念形成を行い、それらを共有することが学問としての発展と普及に不可欠であることを物語っています。

何かを共有することは、社会生活を営むうえでなくてはならないものです。理学療法士は対象者のニーズを十分に理解し、目標を共有することで、対象者を支援することが初めて可能になります。人と人とが分かり合えたと感じる際に共有しているものは、言語化した概念のみでなく共通世界に存在するイメージが重要になってきます。医療面接においても言語的なコミュニケーションは、全体の35から40%程度と言われており、醸し出す雰囲気やちょっとした仕草から感じられる非言語的コミュニケーションが重要となります。感じ取ることや気づくことは医療者にとって最も重要な実践能力の1つであり、一朝一夕に身につくものではありませんが、漠然と経験を積みだけで習得されるものでもありません。

本特集で取り上げた“ボディイメージ”は、対象者がどのように自己を認識しているかを示す用語の1つで、狭義にとらえれば重力への適応、身体知覚に対する自己認識、空間定位としての姿勢などが挙げられます。また、道具や他者との関係とともに、広義にとらえれば、社会の価値観に対する自己評価を包含した心的表象までもが含まれます。理学療法士は、対象者が自己に対してどのようなイメージをもっているのかを知ることが重要で、対象者のボディイメージを理解することによって一層効果的な支援をすることが期待できます。現実的な戦略の1つとして、ボディイメージの持つ概念を階層化し、各段階での定義を明確にしたうえで実践的な評価指標を作成することは理解の助けになります。なお、評価指標は臨床で便利な道具ですが、特定の側面に光を当てたスポットであることを理解しておかなければなりません。光の存在は影となる部分があることを意味しています。素晴らしいと感じた風景を撮影し、後から写真で見た時に異なる感覚を覚えることもあるでしょう。その場でみた風景はそこで感じた風や静寂感あるいはそれに続く感慨などが1つのイメージとして形成されている可能性があります。しかし一方で、1枚の写真が実際の風景よりも何倍もの感激や感動を呼ぶ場合も稀ではありません。現象と原因は双方向からのアプローチによって相互依存性と相対的独立性が明らかになり、対象者を丸ごととらえることに近づきます。

ところで、編集後記は読者の皆様にとってどのような存在意義があるのかということが時折話題にのびります。周囲をみると、既に後記をなくしてしまったり事務的なものに変えている雑誌も少なくありません。編集者として自分の感じていることを自由に記載できる欄ではありますが、EOIを通して企画意図などをお伝えすることは可能です。本ジャーナルの後記欄をどのように感じていらっしゃるか読者アンケートを利用してお聞かせくだされば幸いです。なお、来年3月には年間企画会議が予定されており、皆様からの幅広いご意見を参考に、よりよい雑誌作りを進めていこうと考えています。

(内山 靖)

理学療法ジャーナル

(第39巻 第12号)

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

2005年12月15日発行(毎月1回15日発行)

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 5-24-3

電話 本誌編集室直通(03)3817-5703

定価 1,785 円(本体 1,700 円+税 5%)

(担当: 松田・山崎)

販売部直通(03)3817-5659・5660

広告室直通(03)3817-5696

{ 2005 年年ぎめ予約購読料 20,880 円 }
(配送料弊社負担)

ファクシミリ(03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

E-mail: ptj@igaku-shoin. co. jp

印刷所 三 報 社 印 刷(株) ☎(03)3637-0005

Web http://www. igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/

広告申込所 (株)医薬広告社 ☎(03)3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2005, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有しています。

・ JICLS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

●編集顧問●

安 藤 徳 彦
上 田 敏
大 川 弥 生
五 味 重 春
福 屋 靖 子
横 山 巖

(五十音順、以下同じ)

●編集委員●

網 本 和
内 山 靖
高 橋 哲 也
高 橋 正 明
鶴 見 隆 正
永 富 史 子
奈 良 勲
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 橋 光 二
今 川 忠 男
上 田 陽 之
大 橋 ゆかり
大 峯 三 郎
岡 西 哲 哉
岡 本 慎 夫
金 谷 さとみ
木 山 喬 博
日 下 隆 一
工 藤 俊 輔
酒 井 桂 太
佐々木 伸 一
佐 藤 秀 一
澤 田 三津子
高 口 光 子
富 樫 誠 二
富 田 昌 夫
長 澤 弘
仲 貴 子
中 村 春 基
橋 元 隆
濱 出 茂 治
備 酒 伸 彦
福 井 勉
福 田 恵美子
二 木 淑 子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 田 和 夫
丸 山 仁 司
宮 本 省 三
諸 橋 勇